

市民と議会を結ぶ架け橋

上野原市 議会だより

No.81

令和7年
5月発行

3月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
上野原ジオパーク構想

特集 うえのはらで頑張る人	2
議長あいさつ	4
議会の新構成	4
定例会で決まった主なこと	6
議決結果等一覧表	8
閉会中の委員会活動	10
会期中の審査	11
予算特別委員会	12
一般質問	15
市民の声	20



うえのはらで頑張る人 Vol.34 上野原ジオパーク構想



私たちの住む上野原は、複雑な大地の上に、豊かな生態系をもち、人々の暮らしの歴史が刻み込まれていることを市民にも、外にも発信しようと、「上野原ジオパーク構想」を進めている人たちがいます。ジオパークツアーに同行させてもらい、取材をしました。

こんな大地の上に住んでいます
「まだ知らない」上野原を知らせて

ジオパークって何ですか

■ 地質・地形から地球の過去を知り、未来を考えて、活動する場所です。現在日本には、日本ジオパーク委員会が認定した「日本ジオパーク」が48地域あります。その内、10地域がユネスコ世界ジオパークにも認定されています。

■ 上野原は河岸段丘が有名ですが、それだけでなく、関東山地というプレートの沈み込みによって作られた地塊とフィリピン海プレートによって運ばれてきた丹沢山地がぶつかっている所です。

さらに豊かな生態系があり、縄文遺跡もあり、甲州街道に因む歴史もある貴重な場所であると言われて、上野原ジオパーク構想を立ち上げ、認定を申請する準備を進めています。



どんな思いでガイドを

■ ここに何がありましたよということではなく、これができたのはどうしてかな、というような能動的な、アクティブに考えてもらうように解説しています。



■ 上野原の大地は素晴らしいところだな、と気づきました。上野原市のブランドメッセージの中に「あるものを活かせば、ないものをつくれる ないものをつくれれば、みんなが応援してくれる」とあります。ぜひ、みんなが応援してくれる上野原ジオパークにしたいと思っています。

■ 地元に住んでいて、観光ボランティアをしています。ジオパークのことを調べる中で、今まで、いろんなことが不思議と思ってきたことが分かってきた。それをみなさんに知らせたいなという思いがあり、ガイドをしています。

見どころは

■ 上野原駅北口の道路が作られたのは昭和6年です。石垣もその頃できました。多分石垣の石は下の河原から持ってきたのではな

いかと考えています。穴の空いているのは玄武岩溶岩で富士山の溶岩です。関東山地を作っている砂岩の石もあります。遠い海から運ばれてきた凝灰岩の石もあります。石垣を見ているだけで、上野原の大地が出来た複雑な事情を垣間見れます。

■ ハツ沢の鶴川の河原を見た時、色の違う石が混じっていたので、最初は不法投棄かと思いました。近づいてよく見ると、硬く砂岩と泥岩の互層とわかりました。フィリピン海プレート沈み込みによる痕跡地形であると推定されています。

■ 上新田に、水天宮の石碑があるのですが、桂川漁業者一同という銘が刻まれています。水難よけの願いが込められています。鮎魚で生計を立てていたという証拠ではないでしょうか。まだ見どころはたくさんあります。



これからの活動は

■ ジオパークに認定されるためには、市民からの盛り上がりが大切です。そのために、上野原の大地についてもっと知ってもら

ことが必要です。「ここでは、こんなものが見られます」というような標識や解説板がほしいと思っています。

■ 今は、地質について語れる人が、2、3人しかいないので、ガイドの育成も考えています。

■ 研究者の交流や、資料の保管や収集などのためにも、研究拠点の設置も要望しています。上野原の地史について、最新の知見に基づいた調査・研究を進めていくことが必要です。



取材を終えて

「上野原ジオパーク構想」がいよいよ具体的に動き始めてきました。今回はその一環であるジオツアーに参加しました。ガイドされた方は知識・知見はもとより、心より上野原を愛していることがわかりました。また参加された方々からは、上野原にこんなに知らない、素晴らしいところがたくさんあるんだと口々に話されていました。「まだ知らないだけ上野原」その魅力を市民はもとより、全国にそして世界に発信していければと思いました。

議長就任のあいさつ

議長 八木 一雄



議長 八木 一雄



副議長 内田 倫弘

市民の皆様には、平素より市議会に対しまして深いご理解とご協力を賜り心から感謝を申し上げます。この度、令和7年第1回定例会において、議員各位のご推挙によりまして、上野原市議会第21代議長の要職に就くことになりましたことは、誠に身に余る光栄でありますとともに、その責任の重さを痛感している次第であります。微力ではありますが、市政発展のため、新たな決意で議会運営に取り組み覚悟でございます。

さて、本市を取り巻く環境は、人口減少下を背景に依然として厳しい状況にあります。財政問題をはじめ少子・高齢化社会に向けた医療・福祉のサービスの在り方、教育施設の改善や整備、子育て世代への支援や環境整備、農業や商工業の振興など早期に解決すべき様々な課題が山積しております。これら諸課題に対し議会としてしっかりとした議論を重ね、市民の皆様の声を反映させた政策を推進していくことが議会の使命であると考えております。市民の皆様が安心して暮らせる環境を整えるため、私たち議会がしっかりとしたビジョンを持ち、その実現に向けて取り組む所存です。

私は、議長としてその先頭に立ち、皆様の信頼と期待に応えられるよう、全身全霊で職責を全ういたします決意であります。

今後とも市民の皆様をはじめ、関係各位のなお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

議会活性化特別委員会

◎長田喜巳夫 ○小俣 崇
議長を除く13人の議員で構成

予算特別委員会

◎遠藤美智子 ○安留 俊介
議長を除く13人の議員で構成

議会運営委員会



清水 一明 山口 薫 佐藤 澄男
○遠藤美智子 ◎東山 洋昭 川田 好博

◎は委員長 ○は副委員長

総務産業常任委員会



八木 一雄 東山 洋昭 佐藤 澄男
長田喜巳夫 ○小俣 崇 ◎山口 薫 杉本 公文

文教厚生常任委員会



内田 倫弘 白鳥 純雄 清水 一明
川田 好博 ○安留 俊介 ◎天野 淳一 遠藤美智子

議会だより編集常任委員会



小俣 崇 白鳥 純雄 清水 一明
杉本 公文 ○川田 好博 ◎遠藤美智子 東山 洋昭

3月 定例会

定例会で決まった 主なこと

令和7年第1回定例会が2月26日から3月17日まで20日間の会期で開かれました。

審議された議案

市長提出議案	50件
発議	1件
計	51件

※議案名・議決結果等は8〜9ページをご覧ください。

条例 改正

中部地区防災支援センター使用料改定

上野原中部防災支援センターの施設区分と使用料を表のとおり改正しました。

施行期日 令和7年4月1日から施行

区分	午前	午後	夜間	全日
集会室1・2	1100	1400	1600	3500
集会室3	300	400	500	1000

利用区分及び使用料(円)

総合 戦略

上野原市人口ビジョン及び上野原市 総合戦略が策定されました

市の人口の現状分析と長期的な将来人口の展望を示した人口ビジョンを実現するため、今後5年間の具体的な施策・事業を取りまとめた市の総合戦略をまとめたものです。

計画期間 令和7年4月1日〜12年3月31日

議案第11号

上野原市出産奨励祝金の支給に関する条例を廃止する条例制定について

条例 廃止

出産奨励祝金制度が廃止されます

第一子に5万円、第二子に10万円、第三子以降に50万円(出生時に30万円、小学校等に入学時に20万円)支給されていた出産奨励祝金制度が、令和8年4月1日出生児をもって廃止します。

制度の目的である子ども的人口対策が果たされていないとの指摘があり、出産時交通費等助成事業に転換を図ります。

出産時交通費等助成事業

令和7年4月1日以降出生児

出産にかかる入退院の交通費(往復1回)

出産までの間、分娩施設の近くに待機宿泊した時の宿泊費(最大14泊分、同行1名を含む)

令和8年4月2日以降出生児

健診にかかる交通費(妊婦健診14回、産婦健診2回として最大往復16回まで)

議案第40号

上野原市人口ビジョン及び上野原市総合戦略の策定について

定例会で決まった主なこと

議案第1号 専決処分の承認を求めることについて（令和6年度上野原市一般会計補正予算（第7号））

補正予算

低所得者支援事業等を計上

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、住民税非課税世帯に給付金（1世帯3万円）を支給する事業です。

総事業費

6897万7千円

議案第15号 令和6年度上野原市一般会計補正予算（第8号）

補正予算

総額5425万1千円を計上

市役所庁舎等改修工事

1386万円

地域交通対策事業

2364万1千円

避難所生活環境改善資機材整備事業

1225万円

小学校バスケットゴール設置事業

578万6千円

閉架書庫移転事業

717万8千円

議案第45号 上野原市秋山財産区管理委員の選任の同意について

事件

秋山財産区管理委員の選任

上野原市秋山財産区管理委員

原田 富士夫氏 磯部 孝文氏
荒井 亨氏 小俣 幸市氏
佐藤 好司氏 小俣 貢氏
加藤 宗利氏

議案第46号 上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区管理委員の選任の同意について

事件

西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区管理委員の選任

上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区管理委員

藤本 重則氏 佐藤 孝延氏
杉本 福正氏 原田 哲男氏
古瀬村 智充氏 原田 秀一氏
多賀井 修一氏

議案第47号 人権擁護委員候補者の推薦について

事件

人権擁護委員候補者の推薦

令和7年3月31日をもって1名の任期が満了を迎えるため、委員の候補者を推薦するに当たり全会一致で候補者を適任としました。

人権擁護委員候補者

関戸 勝夫氏

定例会で決まった主なこと・第1回定例会議決結果等一覧表

議案第44号

市道認定

上野原市道路線の認定について

市道2路線認定

路線番号	路線名	起点・終点
4031	北川橋南線	大柵字九上沓平394番地4 大柵字九上沓平186番地1
5106	田代廻り戸線	鶴島字田代3158番地4 鶴島字廻り戸351番地1

議案第49号

人事案件

上野原市副市長の選任の同意について

副市長の選任

6月2日に任期満了になる野崎広仁副市長の後任に引き続き同氏を選任することに同意しました。

議案第50号

人事案件

上野原市監査委員の選任の同意について

監査委員の選任

2月26日に任期満了になった長田喜巳夫氏に代わり、杉本公文氏を監査委員に選任することに同意しました。

選挙第3号

選挙

上野原市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

選挙管理委員会委員等が決まりました

次の方が当選しました。

選挙管理委員会委員

補充員

中村春彦氏 岡部信一氏
小俣季廣氏 阿部茂信氏
奈良富男氏 菊池寿郎氏
安田稔氏 尾形正勝氏

第1回定例会

◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者)

議案番号	付託委員会	案 件 名	天野 淳一	佐藤 澄男	清水 一明	安留 俊介	小俣 崇	内田 倫弘	八木 一雄	山口 薫	白鳥 純雄	遠藤美智子	川田 好博	東山 洋昭	杉本 公文	長田喜巳夫	審議結果
21	予算特別	令和7年度上野原市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	●	○	○	○	可決
22		令和7年度上野原市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○		○	○	○	●	○	○	○	
23		令和7年度上野原市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○		○	○	○	●	○	○	○	
40	総務産業	上野原市人口ビジョン及び上野原市総合戦略の策定について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	●	○	○	○	

◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案 件 名	結果
1	—	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度上野原市一般会計補正予算 (第7号))	承認
2	総務産業	上野原市上野原中部地区防災支援センター条例の一部を改正する条例制定について	可決
3		上野原市旅費等の特例に関する条例制定について	
4		上野原市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	
5		上野原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	
6		刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	
7		上野原市行政財産使用料条例及び上野原市学校施設及び公民館使用に関する使用料条例の一部を改正する条例制定について	

令和 7 年第 1 回定例会議決結果等一覧表

議案 番号	付 託 委員会	案 件 名	結 果
8	文教 厚生	上野原市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例制定について	可決
9		上野原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	
10		上野原市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について	
11		上野原市出産奨励祝金の支給に関する条例を廃止する条例制定について	
12		上野原市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	
13	総務 産業	上野原市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	
14	文教 厚生	上野原市教職員住宅条例の一部を改正する条例制定について	
15	—	令和 6 年度上野原市一般会計補正予算（第 8 号）	
16		令和 6 年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）	
17		令和 6 年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	
18		令和 6 年度上野原市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）	
19		令和 6 年度上野原市下水道事業会計補正予算（第 3 号）	
20		令和 6 年度上野原市簡易水道事業会計補正予算（第 3 号）	
24	予算 特別	令和 7 年度上野原市介護保険特別会計予算	
25		令和 7 年度上野原市介護サービス事業特別会計予算	
26		令和 7 年度上野原市教育奨励資金特別会計予算	
27		令和 7 年度上野原市大目財産区特別会計予算	
28		令和 7 年度上野原市甲東財産区特別会計予算	
29		令和 7 年度上野原市巖財産区特別会計予算	
30		令和 7 年度上野原市島田財産区特別会計予算	
31		令和 7 年度上野原市上野原財産区特別会計予算	
32		令和 7 年度上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計予算	
33		令和 7 年度上野原市小金沢土室山恩賜県有財産保護組合西原分収益事業特別会計予算	
34		令和 7 年度上野原市秋山財産区特別会計予算	
35		令和 7 年度上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計予算	
36		令和 7 年度上野原市下水道事業会計予算	
37		令和 7 年度上野原市簡易水道事業会計予算	
38		令和 7 年度上野原市病院事業会計予算	
39	総務 産業	財産の処分について	
41	—	上野原市和見辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	
42		上野原市沢渡辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	
43		上野原市秋山安寺沢辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	
44	総務 産業	上野原市道路線の認定について	
45	—	上野原市秋山財産区管理委員の選任の同意について	同意
46		上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区管理委員の選任の同意について	同意
47		人権擁護委員候補者の推薦について	適任
48		上野原市役所庁舎等改修工事請負変更契約締結について	可決
49		上野原市副市長の選任の同意について	同意
50		上野原市監査委員の選任の同意について	同意
選挙 3		上野原市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について	当選
発議 1		上野原市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。

総務産業常任委員会

委員長 清水一明
副委員長 遠藤美智子
委員 天野淳一
安留俊介
内田倫弘
山口 薫
杉本公文

閉会中の継続調査として、DX(デジタル技術を活用して、業務の効率化や行政サービスの向上を実現すること)推進について2月14日視察調査を行いましたので、その結果を報告します。

当日は、埼玉県深谷市(人口14万人)に総務課担当職員らと、伺い調査を行いました。

深谷市は、総務省の「業務効率化モデルプロジェクト」に採択されたことから2018年度に窓口業務の効率化に着手しました。

その方向性としては、来庁者にわかりやすく、さらに行政サービスの効率化が図られる「書かない窓口」の実現を目指したものでした。

具体的には、マイナンバーカード等の券面情報を備え付けの機器に読み取らせます。この

情報がQRコード化され来庁者に発券されます。これが窓口以外の各担当課においての申請書にも反映されます。

これにより各種手続きに要する時間が短縮され来庁者の負担は軽減され、また、職員の削減も図られたとのことでした。

今回の視察調査では、深谷市とは人口規模が異なるものの参考とすべき事例が多々ありました。

帯同した担当課に対しては、他の自治体の先進事例等を参考にして、市民の利便性を高めるとともに、一層の業務の効率化を進めていくことを要望しました。

マイナカード読み取り機



マイナカード読み取り機

文教厚生常任委員会

委員長 白鳥純雄
副委員長 佐藤澄男
委員 小俣 崇
八木一雄
川田好博
東山洋昭
長田喜巳夫

2月17日に、「小・中学校の教職員の働き方の実態について」閉会中の継続調査を行いました。

はじめに、上野原中学校を視察しました。勤務時間の管理は公務支援システムを使用している、超過勤務が、月に45時間を超える、管理職に通知されるため、それに応じて指導を行っているとの事です。超過勤務は年度初め、学期末、学園祭などの前に増える傾向にあります。職員は、情報管理の面からも、仕事の持ち帰りをしないように務めているそうです。

島田小学校では、月に45時間以上の超過勤務を行っている職員が半数いて、年度始めと終わりには教頭と教務主任、4月、8月、3月は学年主任の在校時間が長いとの事です。また、校外学習では保護者への連絡、修

学旅行など宿泊を伴う行事ではほとんど眠れず引率する事もあり負担を感じるとの事でした。

委員からの特別支援学級の持ち時間が多いが、苦慮されている点は、と言う質問については、児童の成長のためと言う先生の思いと、労働者としてのバランスを取る事が、非常に難しいとの事です。また様々な対応について学校に連絡があり、解決を期待されていることも負担になっているそうです。

担当課には、慢性的な人員不足の解消などを国、県へ継続して要請する事を要望しました。



会期中の審査

総務産業常任委員会

委員長 山口 薫
副委員長 小俣 崇
委員 佐藤澄男
八木一雄
東山洋昭
杉本公文
長田喜巳夫

2月28日、委員会を開催し付託された条例制定等10件について審査しました。主な内容を要約してお伝えいたします。

議案第2号「上野原中部地区防災支援センター条例の一部を改正する条例制定について」は、防災支援センターの使用料を、集会室1と2をセット料金とし金額も下げたものです。

議案第6号「刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について」は、刑法等の一部改正により、これまでの「懲役」及び「禁錮」が廃止され、新たに「拘禁刑」が創設されることに伴い条例を改めるものです。

議案第39号「財産の処分について」は、勤労青少年ホームを社会福祉法人山の都福祉会に、建物を無償譲渡し、底地は賃貸借とするものです。

議案第40号「上野原市人口ビジョン及び上野原市総合戦略の策定について」は、将来の人口ビジョンを実現するため、今後5年間の具体的な施策・事業をまとめて策定するものです。

以上、他6案件を含む計10案件について採決した結果、いずれも全会一致で、原案どおり可決すべきものと決定しました。また、ジオパーク構想について、閉会中の視察調査とすることに決定しました。



文教厚生常任委員会

委員長 天野淳一
副委員長 安留俊介
委員 清水一明
内田倫弘
白鳥純雄
遠藤美智子
川田好博

2月28日に委員会を開催し、付託された条例制定6件について慎重に審査しました。

議案第8号は、福祉事務所の所掌事務について規則で整理することから、条例における所掌事務を削除するものです。

議案第9号は、栄養士法の改正に伴い、家庭的保育事業者等が利用乳幼児に対する食事の提供を施設外で調理し搬入する方法により行う際に求めている「栄養士による必要な配慮」について、「栄養士又は管理栄養士による必要な配慮」に改めるものです。

議案第10号は、法改正により児童手当の特別給付が廃止されたことから、条例中の特別給付に関する規定を削除するものです。

議案第11号は、出産奨励金事業の廃止に伴い条例を廃止する

ものです。

議案第12号は、支援センター職員の配置基準について、支援センター運営協議会が必要と認める場合は全体必要数の職員配置を可能とするよう配置要件を改めるものです。

議案第14号は、西原教職員住宅4号棟の廃止に伴い、条例の該当箇所を削除するものです。

以上6案件を採決した結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

また、指定ごみ袋制(有料化)について調査すべきとの意見があり、閉会中の視察調査とすることに決定しました。



7年度
予算

当初予算の審査を行いました



副委員長 安留 俊介



委員長 遠藤美智子

一般会計

歳入・歳出

107 億 4085 万 9 千円

前年度比 4.8%減

特別会計(16会計)

歳入・歳出

65 億 2592 万 4 千円

前年度比 1.8%減

第1回定例会で、議長を除く13人の議員で構成される予算特別委員会が設置されました。予算特別委員会は令和8年第1回定例会の前日までの間、当初予算及び委員会付託を省略した以外の補正予算について審査をします。

委員長に遠藤美智子議員、副委員長に安留俊介議員を互選しました。

議案第21号から議案第38号までの令和7年度一般会計予算及び病院事業会計予算等、合わせて18件について、3月3日、5日、7日の3日間にわたり、予算特別委員会で審査を行いました。まず、各課から担当職員の出席を求め、課別の質疑が行われました。

3日間で113件の質疑が行われました。

今回は骨格予算のため新しい政策の予算は6月定例会に補正予算として提出される予定です。

議案21号、22号、23号については異議があったので起立採決を行い、可決すべきものと決まりました。他の15案件は全会一致で可決すべきものと決まりました。

以下、いくつかの項目の質疑について、その概略を掲載します。

予算特別委員会委員

任期：令和8年第1回定例会開会日の前日まで

委員長 遠藤美智子議員

副委員長 安留 俊介議員

天野 淳一議員

佐藤 澄男議員

清水 一明議員

小俣 崇 議員

内田 倫弘議員

山口 薫 議員

白鳥 純雄議員

川田 好博議員

東山 洋昭議員

杉本 公文議員

長田喜己夫議員

結婚相談事業

- Q アプリの活用など、時代に合った運営をすべきでは。また、ふれあいパーティーの定員5組というのはいかななものか。
- A 今後、マッチングアプリも活用することを検討しながら事業を推進します。定員については、いろいろ意見もあり、検討させていただきます。

質問 と 答弁



宅配ボックス

宅配ボックスの補助

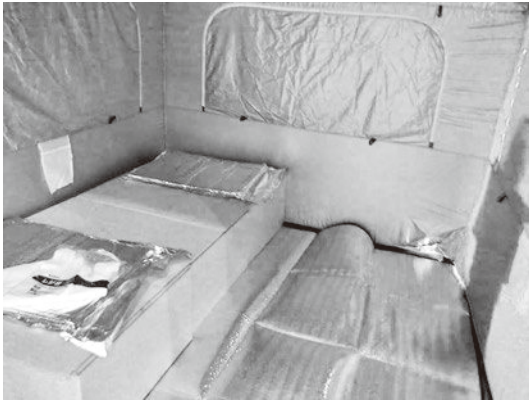
- Q 今年度の実績と来年度は何件見込んでいるか。
- A 10月から2月末までに63件の申請がありました。来年度は300件の申請を見込んでいます。

がん検診受診率

- Q 令和7年度の予算と受診率向上について。
- A 予算は例年とほぼ同額です。受診率の向上は、がん検診受診後の保健指導を行います。特に40代から50代の若年層の肥満に該当する人向けに、生活習慣病に対する保健指導を実施する予定です。

観光協会からの発信

- Q 上野原駅南口の市観光協会のSNSなどへの観光等の情報発信が少ないと思うが？
- A まだまだ不十分だと考えています。観光協会と協議し、現在は季節にもよりますが、週一回程度の発信に努めています。



段ボールベッド

避難所の段ボールベッド

- Q 避難所に在庫する段ボールベッドの数量は。
- A 市内に分散して確保しています。内訳は、旧沢松小学校に193台、総合福祉センターふじみに60台、その他の避難所に98台の合計351台です。

部活動の地域移行

- Q 指導者確保はどうするのか。大会参加は。
- A 現在、地域クラブ活動指導員(人材バンク登録希望者)を募集中です。その中から、各中学校の希望と合致する人と学校教育課が面接を行い、適切な人を会計年度任用職員として配置する予定です。
- 地域クラブに移行した時、小中体連の大会に参加する場合、学校単位で参加することも、地域クラブで参加することも可能です。どちらもそれぞれの指導者が引率することになります。

環境保全対策

- Q 特定外来生物の除去やナラ枯れ対策は古木の更新、鳥獣害対策は人と野生生物との間の緩衝地帯の確保など、生態系保全の立場で行うべきではないか。
- A 桂川河川敷のオオキンケイギクの除去は、関係課と連携して除去に取り組んでいきます。環境保全については、高齢化が進んでいる中で、今後、森林整備をどのように進めていけばいいのかを考えていきます。

防犯灯の撤去、移設補助金

- Q 撤去、移設とは、現在あるものを別の場所に移動するときの補助金なのか、補助金額と補助率は。
- A 現在活用されていない器具を別の場所に移設する時に、申請費用や業者に支払う金額を補助するための交付金で、移設工事費の1/2もしくは2万円を上限に交付するための補助金です。



防犯灯

ヘルメットの配置について

質問

上野原こども園・蔵こども園・秋山保育所また小・中学校には、ヘルメットの配備はされているか。

答弁

各施設では、防災頭巾を用意しており、ヘルメットは配備しておりません。

市内の小・中学校7校では、ヘルメットは配備しておりませんが、児童生徒は防災頭巾を活用しています。

質問

災害時には、飛来物や倒壊した建物の付近を避難行動する場合には、危険を伴い想定外の状況が発生した時に、ヘルメットの配備は必要だと思えますが考えは。

答弁

落下物に対して身を守るヘルメットの重要性は理解しています。安全対策として、防災頭巾での対応を訓練していますが、今後は避難訓練を重ねる中で、ヘルメットの配備が必要かどうか検討していきたいと考えています。

意見

飛来物や倒壊した建物の近くを避難する際に、より強固な保護が求められることも事実です。将来的なヘルメットの配備については、今後、先進自治体での事例を研究し、防災頭巾とヘルメットの、併用なども含め検討していきます。

市内の園児、小・中学校に災害発生時に身を守るための、ヘルメットの配備を検討していただくよう要望します。



佐藤 澄男

結婚前の支援策について

質問

異性との出会いのこれまでの施策は。

答弁

結婚相談員の方による相談業務を始め、年2回の「ふれあいパーティー」の開催などにより、出会いの場を設けてきました。

質問

結婚相談員の方には、今まで大変ご協力いただけてきました。今後の位置づけや新たな施策についてどう考えているのか。

答弁

令和7年度については出会いの場の創出を充実させるため、開催回数を年3回増やし、専門的な知識を有する事業者へ「ふれあいパーティー」の運営をお願いするとともに、結婚を希望する方が描くライフデザインの実現に向けたセミナーの開催等の事業を実施する予定です。また、結婚する前からきめ細やかなサポートができるよう、これまでの結婚相談所を発展させて



東山 洋昭

「うえのはら結婚サポートセンター」とし、毎週日曜日のみだった相談日を平日の3日間も実施します。一層の相談支援体制の強化を図るとともに、これまでの相談員の方にご尽力いただいた支援を引き継ぎながら、相談者、登録者に寄り添った伴走支援を行っていくこととしています。

他に、上野原ジオパーク構想の認定、空き家対策、非常用電源への助成等について質問しました。

持続可能な上野原のために 将来を見据えた対策を



山口 薫

地域共生社会の実現に向けた 重層的支援体制整備事業



遠藤美智子

質問

民間団体が推進する「上野原ジオパーク」事業は、市民に誇りと自信を与え郷土愛を高める等地域活性化に成果を挙げています。市の「まだ知らないだけ」の具体的施策として、今後の支援等について伺います。

答弁

現在は観光協会等が事業を進めていますが、ジオパーク構想推進協議会の発足後は、市の補助や関係する部署との連携による事業の実施などが考えられます。

質問

鶴島地区の県道は、狭く渋滞や交通事故も多発しています。住民は早期拡幅を念願し、県へ陳情しているが現在の工事等の状況は。

答弁

現在、拡幅工事に係る設計が終わり用地買収に向けて準備中です。地域住民の強い要望もあり、市も県と連携し協力していきます。令和3年以降、①県地震被害想定、②桂川洪水浸水想

答弁

定、③富士山噴火に伴う溶岩流や降灰の想定等を見ると、市の地域防災計画を見直す必要があると思うが。

質問

①地震対策が県の計画に記載され、市防災会議から修正の承認を受けています。

答弁

②新田地区住民の避難所に文化ホールを追加します。

質問

③降灰等の対策も県と連携し修正していきます。

質問

地域防災リーダーの多くはその知識を活かしたいと望んでいます。区等での位置付けと活躍の場を。



質問

少子高齢化や人口減少の加速化により、地域住民の繋がりが希薄化する中、本市においても個人や世帯が抱える課題が複雑化・複合化していることを実感します。このような社会的孤立防止対策のため、2021

答弁

年4月、「重層的支援体制整備事業」が施行された。本市もこの事業を実施する必要が考えられますが、県内で本事業に取り組む市町村が徐々に増えているため、先月、ふじみ内の3課の課長と社会福祉協議会を交え、事業の実施に向けた協議・検討を始めました。

意見

この事業は複合的課題に対し、「相談支援」「社会参加支援」「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に対応する事業です。そのためには、相談窓口

答弁

に専門的な知識を持つ専門士が必要です。コミュニティ

質問

他に、小中学校体育館に空調設備の設置、市内に防犯カメラの設置等について、質問しました。



重層的支援体制

みらい戦略の防災対策 これで市民の命を守れるのか



杉本公文

上野原市みらい戦略について



長田喜巳夫

質問

当市の地震災害の最大被害想定は、相模トラフ地震で死者は431人、その殆どが建物や家具の倒壊による圧死で、重軽症者は1千626人と想定されています。市内の、1千棟程の非耐震住宅への対策は現在、耐震改修及び耐震シェルターの、それぞれ2件分の予算が計上されていますが、これで何人の市民の命を守るつもりでしょうか。家屋の倒壊による死傷者防止対策と数値目標は。

答弁

住宅の耐震化は喫緊の課題と痛感しています。耐震化率は7年度末、89・4％と推計し、7年度末の目標の95％の達成は厳しいと認識しています。住宅耐震化の対策として、耐震改修、耐震シェルター、防災ベッドの設置となりますが、実績が少ない実情であり、今後引き続き補助制度の周

質問

知、耐震化の普及啓発活動強化に努めます。建替えや改修には費用への困難性が高い。安価なシェルターや防災ベッドの周知と導入促進の為、庁舎に常設の展示をすべきでは。市民の皆様に関心を高めて頂くため実物の展示を、今後、考えて行きます。

答弁

質問

地区防災計画策定に向け、防災リーダー支援の会等に協力を要請すべきでは。全ての区長さんに作成手引をお渡しするなど作成の支援を行っているが、支援の会や他の団体にも講師等を依頼する中で、地区防災計画を進め検討します。

答弁

全体的に、子育て世代を受け入れる特徴的な施策は何か。新婚新生活応援補助事業や出産時交通費等助成事業などですが、他に、子育て情報をアプリで発信したり、子育て世代を地域で支え合う地域住人主導型共助コミュニティ創生事業は特徴的な事業です。

質問

移動率20％改善、出生率1・46を想定した時の人口を1万9千348人としているが、移動率50％の改善の場合の目標人口は。

答弁

1万9千584人で、移動率20％の改善により236人増えることとなります。

意見

移動率35％の改善を想定した場合、単純には118人増えることになる。移住対策を強化すれば可能であり目指すべきである。

質問

子育て世代を受け入れる特徴的な施策は何か。

答弁

新婚新生活応援補助事業や出産時交通費等助成事業などですが、他に、子育て情報をアプリで発信したり、子育て世代を地域で支え合う地域住人主導型共助コミュニティ創生事業は特徴的な事業です。

質問

当市のイメージを高める戦略的な広報活動を定めた計画を策定しているが

答弁

このねらい、趣旨は。市内については、住民が地域の魅力を再認識することで愛着が高まり居住意向の向上が図れるようにしていくことです。市外に向けては、当市の魅力を情報発信し認知度を高め、移住者の増加につなげていきたい。取り組みとしては「シティプロモーション戦略」を策定し、魅力を発信し続けていきます。

意見

ソフト事業にヒト・モノ・カネを呼び込み地域経済の活性化が図れる「道の駅」などのハード事業を組み入れ取り組めば、二重の効果が見込める。



労働環境の改善・経済的支援を



川田好博

質問

2014年まち・ひと・しごと創生法が制定され、その下に総合戦略が作られたが、少子高齢化や東京一極集中がさらに進んだというのが実態ではないか。

答弁

国が公表した報告書では、一定評価できるとされている一方で、大きな流れを変えるには至っていないと総括されています。

質問

答弁

少子化の要因と対策は。さまざまな要因があります。結婚・出産に対する意識の変化も影響しています。育児と仕事の両立が難しい状況を改善する必要があります。若者の貧困化も要因となっており、労働環境の改善や経済的負担の軽減などが求められています。

質問

答弁

出産しても働く女性が増えているので、こども園等の充実が必要ではないか。0～2歳児の保育を充実させる必要があります。

質問

出産して離職すると約1億円以上の利益が失われると言われているが。

答弁

女性が出産後も安心して働ける環境を整えるために関係各課とも協力をしていきます。

質問

卒業後も市内に住んでもらうために、奨学金返済補助、単身者公営住宅の整備、家賃補助を検討しては。

答弁

県がやまなし人材定着奨学金返還支援制度を創設、市内企業の登録はまだないが、考えていきます。また、若年層、子育て世代を中心に住宅取得やリフォームの補助について県と調整中です。



未来に繋がる

まちづくりについて



白鳥純雄

質問

3つの基本戦略で、どのような好循環を創りだそうとしているのか伺う。

答弁

各基本戦略を横断的に捉え、市内外の多様な主体が協力し合い、3つの基本戦略に示した行政課題を解決し、次の課題解決に向けて市内外に挑戦と応援の循環を創るものです。

質問

職員が主体的に、課題解決能力の向上を目指すような、育成に取り組むプロジェクトとは、どのような取り組みなのか伺う。

答弁

民間企業の社員と、協同し交流を図りながらノウハウを学び、民間企業の力を借りてより主体的で、課題解決能力のある人材育成に取り組めます。

質問

答弁

子育てしやすい環境づくりのためには、小児科医師の確保が重要ですが、常勤医師の確保の現状を伺う。市立病院における小児科の

意見

外来については、令和7年4月から常勤医師が1名増え、5月中旬以降は診療時間の拡充に向け、調整を進めています。

統計でも出生率が下がる予測もある中で、今まで以上に生み育てやすい環境づくりが重要になっています。「キッズドクター」と言った便利なサービスもありますが、今後とも医師・看護師の確保に、引き続きご尽力をお願いいたします。

他に、遠隔診療の状況について質問をしました。



ハラスメントの防止 認知症人口の増加について



小俣 崇

可燃ごみの有料化について



安留俊介

質問

国は、3本の法律でハラスメントの防止に向けた取り組みを義務化しました。この様な社会的背景をどの様に捉えているのか伺う。

答弁

本市の2030年の高齢者推計人口8千446人で試算しますと、認知症有病者が1千199人、軽度認知障害有病者が1千351人となり、計2千550人となります。

質問

地域に応じた総合計画の策定・実施について。

答弁

「認知症は誰もが成りえる病気であること」を前提に、市民一人一人が自分ごととして、認知症に対する正しい知識の普及・啓発や、認知症当事者の意見を取り入れた施策の推進に取り組んで行くことが市町村の責務であると考えています。

質問

ハラスメント対策の防止に向けた条例化について伺う。

答弁

条例制定につきましては、既存の制度の課題についても詳しく把握する中で、当市の実情に即した効果的な仕組みとなるよう、先進自治体の取り組みを調査していきたいと考えています。

質問

2030年推計では、「認知症」と「軽度認知障害」の人を合わせた人数はどのような数値を示すのでしょうか。



質問

新たな広域ごみ処理施設の建設と運営を目的とし、郡内地域の全市町村で構成する富士東部広域環境事務組合が令和4年に設立され、令和14年度に稼働予定とのことだが、すべての構成市町村が「有料化の導入」を前提としているのか。

答弁

国の交付金を活用しており、ごみの減量化に取り組むこととされていることから、各市町村とも「有料化の導入」を前提としています。

質問

令和3年に策定された「上野原市ごみ減量化計画」では、「排出量の削減」や「費用負担の公平性」などを達成する施策の一つとして、有料化の導入を検討するとし、排出量が多くなるほど費用負担が大きくなる単従量制、徴収方法は指定袋制が適しているなどとしているが、有料化の導入とな

答弁

ごみの減量化に資する施策の推進などから、当初の計画どおりに進んでいない状況もありますが、令和7年度には指定ごみ袋制度の運用などについて地域説明会を開催するなど、丁寧に説明を行い、ご理解とご協力をお願いしていきます。

他に、消火栓の管理について質問しました。



自然と学びのまち 上野原

市民の声



上野原西中学校
入江 峻輔さん

上野原は四季折々の自然に恵まれた美しい町です。私が暮らす四方津地区も、山々に囲まれ、桂川の溪谷が広がっています。特に秋の紅葉は鮮やかで、朝には鳥のさえずりが響き、心が穏やかになります。それでいて、都会へのアクセスも良好です。上野原 IC から八王子 IC まではわずか 20 分ほど。自然に包まれながらも、必要な時にはすぐに都市へ出られる便利さが、この町の魅力だと感じています。

私たち生徒は、市から教材や学校行事の支援を受けています。今年、校外学習で富士山方面へ行った際も、市の支援のおかげで貴重な学びを得ることができました。こうした支えがあるからこそ、私たちは多くの経験を積むことができます。この恵まれた環境の中で、学びを深められることに感謝しながら、これからも充実した日々を過ごしていきたいと思います。

6 月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
6/1	2	3	4	5 本会議 (初日) 傍聴可	6 議案調査	7
8	9 委員会 予算特別	10 議案調査	11 委員会 総務産業 文教厚生	12 議案調査	13 議案調査	14
15	16 議案調査	17 本会議 一般質問 傍聴可	18 本会議 一般質問 傍聴可	19 本会議 一般質問 (予備日) 傍聴可	20 本会議 (最終日) 傍聴可	21

議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局 (62-3344) へお申し込みください。

編集後記

新緑の季節を迎えさわやかに澄みわたる空の下、鯉のぼりが誇らしげに泳いでいます。編集委員会では、新年度を新たなメンバーでスタートしました。一人でも多くの方に市議会に興味を持ち、関心を持っていただけるよう委員一丸となって編集作業に取り組んでいます。また、市議会では現在、上野原市議会基本条例に基づき、『市民に開かれた議会』を目指し議会の活性化に取り組んでいるところです。

今後も読みやすく親しまれる「議会だより」をお届けできるよう力を尽くしてまいります。是非、議会の傍聴にお越しください。

(遠藤美智子)

YouTube
QRコードです



議会だよりの
QRコードです



議会だより編集常任委員会

委員長	遠藤美智子
副委員長	川田 好博
委員	清水 一明
委員	小俣 崇
委員	白鳥 純雄
委員	東山 洋昭
委員	杉本 公文

